

## 2 中学校

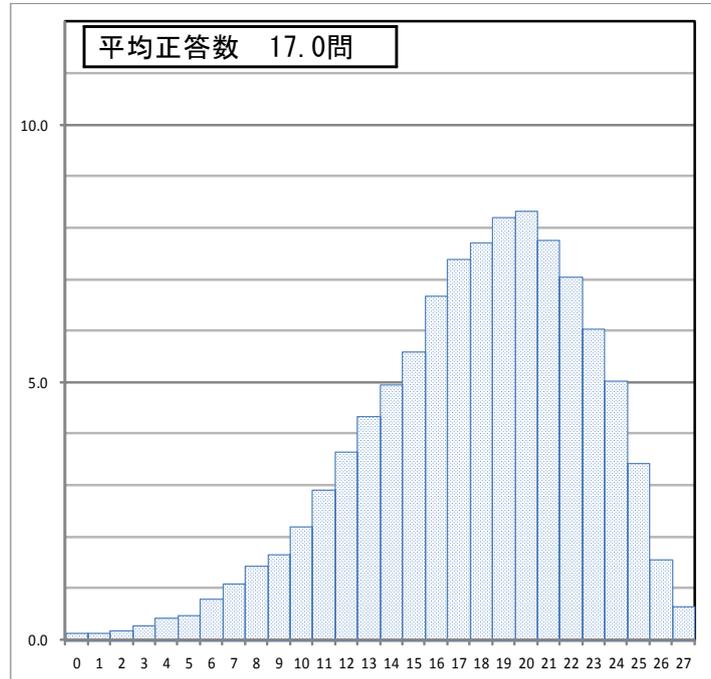
### (1) 国語

#### 【第1学年】

実施生徒数	11,180 人
設問数	27 問
平均正答率	65.4 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	24	68.1
	主として「活用」	3	43.3
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	1	87.6
	書くこと	3	62.7
	読むこと	9	56.0
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	14	70.8
評価の 観点	話す・聞く能力	1	87.6
	書く能力	3	62.7
	読む能力	9	56.0
	言語についての 知識・理解・技能	14	70.8
問題形式	選択式	11	72.7
	短答式	13	64.6
	記述式	3	43.8

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



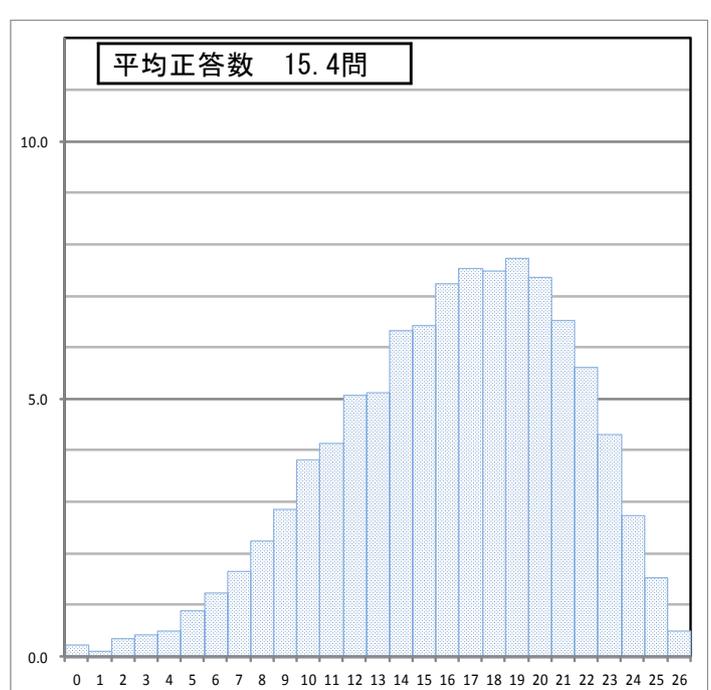
(全ての設問を実施した生徒について算出)

#### 【第2学年】

実施生徒数	11,568 人
設問数	26 問
平均正答率	62.2 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	23	64.5
	主として「活用」	3	44.4
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	2	56.2
	書くこと	2	49.6
	読むこと	10	62.3
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	12	65.2
評価の 観点	話す・聞く能力	2	56.2
	書く能力	2	49.6
	読む能力	10	62.3
	言語についての 知識・理解・技能	12	65.2
問題形式	選択式	8	69.5
	短答式	15	61.9
	記述式	3	44.5

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

## 【結果から見られる成果と課題】

- 1・2年生において、文脈に即して漢字を正しく読むことについては、相当数の生徒ができています。
    - ・「<sup>うつ</sup>移る」(中1[1]ー3 : 97.3%)、「<sup>こくもつ</sup>穀物」(中1[3]ー1 : 84.3%)
    - ・「<sup>なつとく</sup>納得」(中2[3]ー1 : 96.0%)、「<sup>すぐ</sup>優れて」(中2[3]ー4 : 94.4%)
  - 1年生において、言葉の特徴やきまりに関する事項については、相当数の生徒が理解できている。
    - ・慣用句の使い方「口がかたい」(中1[2]ー1 : 91.7%)
    - ・語句を文脈の中で適切に使う「わきまえる」(中1[2]ー3 : 80.4%)
  - 2年生において、古語の文脈上の意味や古典の内容をとらえることに課題が見られる。
    - ・古語の文脈上の意味を的確に捉える(中2[2]三 : 43.6%)
    - ・古典と現代文とを対応させて内容を捉える(中2[2]四 : 48.9%)
    - ・登場人物の心情やものの考え方をつかむ(中2[2]五 : 32.0%)
  - 1・2年生において、説明的文章を読んで必要な情報を読み取ったり、事実と意見とを読み分けたりすることに課題が見られる。
    - ・必要な情報を読み取り、整理して書く(中1[3]三 : 23.7%)
    - ・文章の構成と展開を理解する(中1[3]四 : 25.5%)
    - ・捉えた情報を、条件にあうように的確に表現する(中2[3]三 : 34.2%)
    - ・事実と意見を文末表現から読み分ける(中2[3]四 : 47.6%)
    - ・必要な情報を的確に読み取る(中2[3]五 : 42.3%)
  - 記述式の問題(条件等に即応した記述)に課題が見られる。
    - ・自分の考えを根拠を明確にして書く(中1[4]三 : 48.5%)
    - ・話し合いの内容を受けて、選んだ理由を適切に説明する(中2[4]三 : 27.9%)
- ※「文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書く」H27 中3 全国調査30.8%
- ※「資料の提示方法とその理由を条件に従って書く」H22 中3 全国調査 46.6%

正答率が80%以上であるものや過去の調査等と比較し改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、複数学年に同様の傾向が見られるものや、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめています。

※ ○は成果、●は課題を示している。(■は問題形式による課題)

**国語【中学校 1 年生】**

- 文の成分（主語）について理解することに課題が見られる。

○ Dの文の主語を一文節で答えなさい。

D この反射した光が人の目に入るため青く見えるのです。

**【正答】** 光が

中1：32.8%

- 説明的文章において、必要な情報を読み取り、整理して書くことに課題が見られる。

○ ①「花の蜜はそうはいかない」の「そうはいかない」とは、どういうことを言っているのか。次の文の（ ）に当てはまるように十五字以上二十五字以内で書きなさい。

花の蜜は、（ ）ということ。

**【正答例】** 時節を問わず、いたるところに大量にあるわけではない（25字）

中1：23.7%

- 記述式の問題（条件等に即応した記述）に課題が見られる。

○ **【資料2】** は本の帯などに用いられるキャッチコピーの例です。この中から、あなたが読んでみたいという気持ちになるキャッチコピーの一つを選び、キャッチコピーの表現の仕方を理由として挙げながら、四十字以上六十字以内で書きなさい。

**【資料2】** キャッチコピーの例

- A いま、よみがえる「にっぽん」のころ
- B コМПレックスをもつあなたへ・・・ きっと自分を好きになれますよ
- C これを読んだら三日間笑いが止まらない！
- D 旅の楽しさがいっぱい！ この一冊で君も京都マニアだ。

**【正答例】** 選んだものの記号（ A ）

すべてひらがなで書かれているためやわらかい印象で、おだやかな日本の心に出会えそうだから。（44字）

中1：48.5%

国語【中学校2年生】

- 古典について登場人物の心情やものの考え方をつかむことに課題が見られる。

- 文章前段の「園の別当入道」の振るまいについて、「北山太政入道」はどのような感想を述べていますか。それが分かる部分を原文から一文で書き抜きなさい。句読点を含む。

【正答】かやうの事、おのれはよにうるさく覚ゆるなり。

中2：32.0%

- 説明的文章において、必要な情報を的確に読み取ることに課題が見られる。

- 「方言」を使う時に気をつけなければいけない点について書かれた次の文の（ ）に当てはまる語を、文中の言葉を使って書きなさい。

方言の中には乱暴な言葉も多いので、共通語を使う時と同じように、（ ）性と品位を備えているかどうかについて判断する必要がある。

【正答】公共

中2：42.3%

- 記述式の問題（条件等に即応した記述）に課題が見られる。

- 大田さんの発言を受けて、【下書きⅢ】の説明の中に次のような写真を添えることにしました。その写真のキャプション（図や写真に添えた説明のための文章）としてふさわしいのは、A・Bのうちどちらですか。また、その理由を五十字以上、六十字以内で書きなさい。

A 萩の石工、大庭卯一の作品。灯籠をはじめとして芸術性の高い作品が数多く残されている。

B 西見山八幡宮の牛像。長い間、石材として利用された鍋山の安山岩（鍋山石）で作られている。



【正答例】記号：A 火山が私たちの生活に与えた影響を説明しているので、芸術性よりも安山岩が石材として利用されてきたことを述べるべきだから。(59字)

中2：27.9%

[類題]「資料の提示方法とその理由を条件に従って書く」H22全国調査B 中3：46.6%

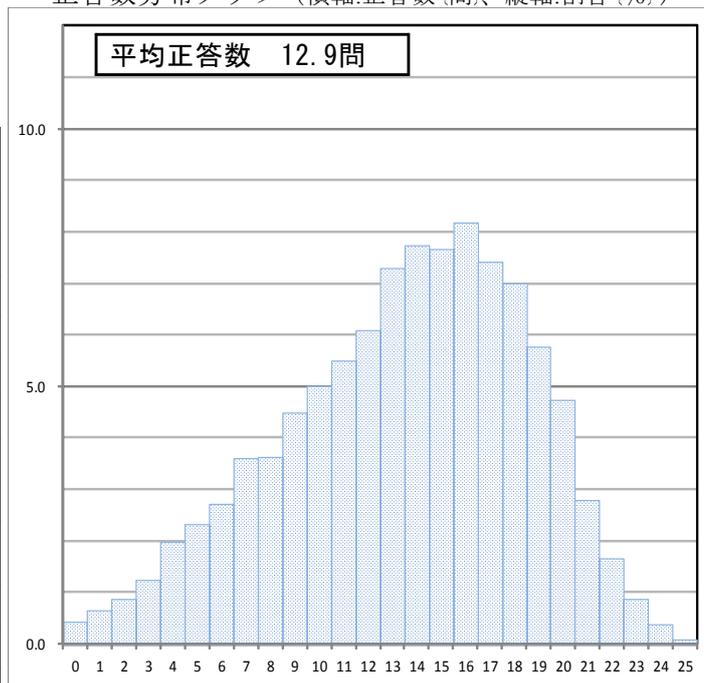
## (2) 数学

### 【第1学年】

実施生徒数	11,188 人
設問数	25 問
平均正答率	53.8 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	20	59.1
	主として「活用」	5	32.9
学習指導要領の領域等	数と式	18	55.5
	図形	4	45.5
	関数	2	46.2
	資料の活用	1	72.1
評価の観点	数学的な見方や考え方	6	25.0
	数学的な技能	11	58.7
	数量や図形などについての知識・理解	8	68.8
問題形式	選択式	6	61.5
	短答式	15	54.9
	記述式	4	38.4

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



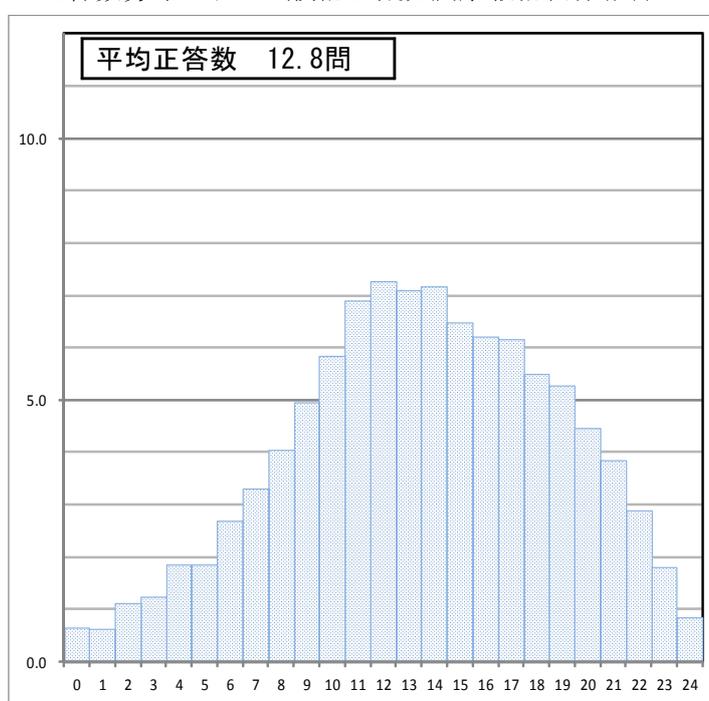
(全ての設問を実施した生徒について算出)

### 【第2学年】

実施生徒数	11,534 人
設問数	24 問
平均正答率	56.2 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	19	63.5
	主として「活用」	5	28.5
学習指導要領の領域等	数と式	13	62.1
	図形	6	47.5
	関数	4	54.9
	資料の活用	1	37.3
評価の観点	数学的な見方や考え方	5	28.4
	数学的な技能	10	66.2
	数量や図形などについての知識・理解	9	60.6
問題形式	選択式	6	61.7
	短答式	15	59.5
	記述式	3	28.9

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

## 【結果から見られる成果と課題】

- 数の読み取り、計算について成果が見られる。
  - ・分数の計算ができること（中1 $\boxed{1}$ （1）：87.4%、中2 $\boxed{1}$ （1）：84.2%）
  - ・加減乗除を含む正の数の計算において、きまりにしたがって計算すること（中1 $\boxed{1}$ （2）：79.7%、中2 $\boxed{1}$ （2）：82.0%）
  - ・正の数・負の数の意味を、実生活の場面に結びつけること（中1 $\boxed{1}$ （5）：81.0%、中2 $\boxed{1}$ （4）：82.2%）
  - ・文字式に数を代入して式の値を求めること（中2 $\boxed{2}$ （2）：86.7%）
- 関数関係を見だし、表現することに成果が見られる。
  - ・具体的な事象について、比例の関係を式に表すこと（中1 $\boxed{6}$ （2）：91.2%）
- 割合の理解や活用に課題が見られる。
  - ・割合の意味を理解し、基準量を明確にすること（中1 $\boxed{6}$ （1）：4.1%、中2 $\boxed{2}$ （3）：7.7%）  
H27 小6 全国調算B2(2)「20%増のせんざいの基準量を求める問題」  
全国13.1%、山口県14.3%
  - ・示された情報を解釈し、基準量と比較量の関係を正しくとらえること（中1 $\boxed{9}$ （1）：4.9%）
- 基本的な図形の計量に課題が見られる
  - ・底面が合同で高さが等しい円錐と円柱の体積の関係を理解すること（中2 $\boxed{5}$ （2）48.3%）  
H19 中3 全国調数A5(4)「円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ問題」  
全国38.1%、山口県37.7%  
H20 中3 全国調数A5(2)「円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ問題」  
全国52.4%、山口県52.6%  
H26 中3 全国調数A5(4)「円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ問題」  
全国38.7%、山口県41.4%
- 日常的な事象を数学的に解釈することに課題が見られる
  - ・事象を理想化・単純化して問題解決する方法を説明する明すること（中2 $\boxed{9}$ ：26.4%）  
H26 中3 全国調数B3(2)  
「ウェーブをする人数と時間について、2つの数量の間の関係を説明する問題」  
全国62.3%、山口県69.3%

正答率が80%以上であるものや過去の調査等と比較し改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、複数学年に傾向が見られるものや特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめています。

※ ○は成果、●は課題を示している。（■は問題形式による課題）

**数学【中学校 1 年生】**

- 割合の意味を理解し、基準量を明確にすることに課題が見られる。

(1) 山口さんがシャンプーを買いに行ってみると、家で使っているシャンプーが 25%増量で売られていました。増量後のシャンプーの量は  $a$  mL です。増量前のシャンプーの量は何 mL ですか。  $a$  を用いた式で表しなさい。



【正答】

$$\frac{4}{5}a \text{ mL}$$

中 1 : 4. 1% 中 2 : 7. 7% ※中 2 においても同一問題実施

(2) 次に、せんざいを買います。家で使っているせんざいが、20%増量して売られていました。増量後のせんざいの量は 480 mL です。増量前のせんざいの量は何 mL ですか。求める式と答えを書きましょう。



【正答】

式  $480 \div 1.2$

答え  $400 \text{ mL}$

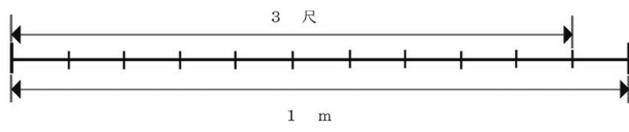
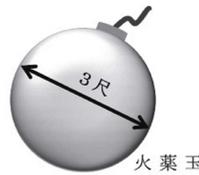
[類題] 「20%増のせんざいの基準量を求める問題」H27全国調査算数B 小 6 : 1 4. 3%

- 示された情報を解釈し、基準量と比較量の関係を正しくとらえることに課題が見られる。

9 次の問題 (1), (2) に答えなさい。  
 みりさんとゆたかさんは、夏休みの自由研究で何を調べようか話合っています。  
 みりさんは、夏に見に行った花火大会のチラシの中に、「尺」という単位を見つけ、自由研究の題材として「花火の大きさ」に使われている単位「尺貫法」について調べることにしました。

【みりさんの調べたこと】

- 3 尺玉の 3 尺とは、火薬玉の直径が 3 尺であることを表しています。
- 「尺」と「メートル」の関係を線分図に表すと次のようになります。



【正答例】

$$\frac{10}{33} \text{ m}$$

(1) みりさんが表した線分図から、1 尺玉の直径は何 m であるとわかりますか。分数で答えなさい。

中 1 : 4. 9%

**数学【中学校2年生】**

- 底面が合同で高さが等しい円錐と円柱の体積の関係を理解することに課題が見られる。

(2) 下の図は、底面が合同で高さが等しい円柱、円錐の形をした容器です。この円柱の容器いっぱいに入れた水を円錐の容器に移します。このとき、下の1～4までの中に、円柱の形をした容器に入っていた水と同じ量の水を表している図があります。正しいものを1つ選び、番号で答えなさい。

**【正答】**  
3

中2 : 48. 3%

[類題] 「円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ問題」全国調査A 中3  
H19 37. 7%、H20 52. 6%、H26 41. 4%

- 2つの数量関係を見出し、事象を理想化・単純化して問題解決する方法を説明することができる。

9 山口さんの学校では全校集会の企画で、クラス対抗による伝言ゲームをすることになりました。全校集会の企画をしている山口さんは、伝言ゲームに必要な時間を予測するために、生徒会執行部12人で実験を行いました。

**伝言ゲームのやり方**

12人を一列に並べ、審判は列の前に立ちます。審判は1人目の生徒に伝言し始めるのと同時にストップウォッチをスタートします。伝言を受けとった人は、次の人へ伝えていきます。最後の人は伝言が伝わると手を挙げ、その合図でストップウォッチを止めます。

審判が伝言を伝え始める瞬間を0秒とし、伝言ゲームをする人数を  $x$  人、最後の人が伝言を受け取って手を上げるまでにかかる時間を  $y$  秒とし、人数を増やしながら調べました。その結果を次のように表にまとめ、グラフに表しました。

**伝言ゲームをする人数とかかる時間**

人数 $x$ (人)	0	3	6	9	12
時間 $y$ (秒)	0	4.4	8.6	12.9	17.1

**人数と時間のグラフ**

山口さんは人数と時間の間に、ある関係が存在するとみることで、実験結果を利用して1クラス30人で伝言ゲームをするのにかかる時間を求めようとしています。人数と時間の間にはどんな関係があると考えられますか。言葉で表しなさい。また30人で伝言ゲームをするときにかかる時間の求め方を答えなさい。

人数と時間の間にはどんな関係があると考えられますか。

30人で伝言ゲームをするときにかかる予想時間の求め方

**【正答】** 人数と時間の間にある関係……比例関係

例) 表から比例定数を求め比例の式を作る。式に  $x=30$  を代入し、時間を求める。

例) 比例と考えるとグラフから10人のとき約15秒だから30人のときは45秒と求められる。

中2 : 26. 4%

- ③ 大地さんの学校では、体育祭で全校生徒320人が一列に並びウェーブをします。実行委員の大地さんは、全校生徒がウェーブをするのにかかる時間を調べるために、学級の生徒に協力してもらい、下のウェーブのやり方で、実際に時間を計りました。

ウェーブのやり方

降りの人が立ち始めたら、自分も立つ。そのとき、腕を高く上げる。きちんと立ったら座る。

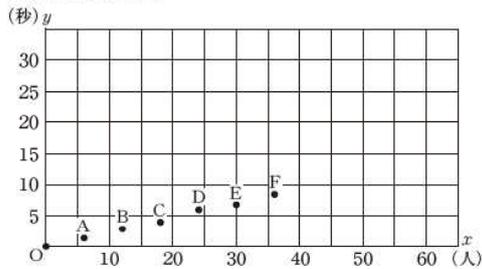


スタートの合図の瞬間を0秒とし、ウェーブをする人数  $x$  人と、最後の人が立ち始めるまでにかかる時間  $y$  秒を、人数を増やしながら調べました。その結果を次のように表にまとめ、下のグラフに表しました。

ウェーブをする人数とかかる時間

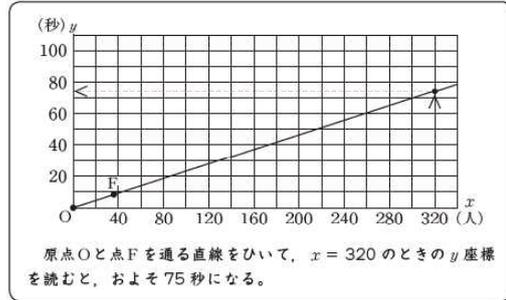
人数 $x$ (人)	0	6	12	18	24	30	36
時間 $y$ (秒)	0	1.4	2.9	4.1	6.0	6.8	8.4

人数と時間のグラフ



- (2) 大地さんは、次のようにして、全校生徒320人がウェーブをするのにかかる時間を求めました。

大地さんの求め方



大地さんの求め方では、人数と時間のグラフで、原点Oから点Fまでの点が一直線上にあり、人数が増えてもすべての点が同じ直線上にあると考えています。

このように考えてよいのは、2つの数量の間に、ある関係があるとみているからです。どの数量の間に、どのような関係があるとみているか書きなさい。

【正答】

ウェーブをするのにかかる時間はウェーブをする人数に比例する。

[類題] 「ウェーブをする人数と時間について、2つの数量の間関係を説明する問題」  
H26全国調査B 中3 : 69.3%

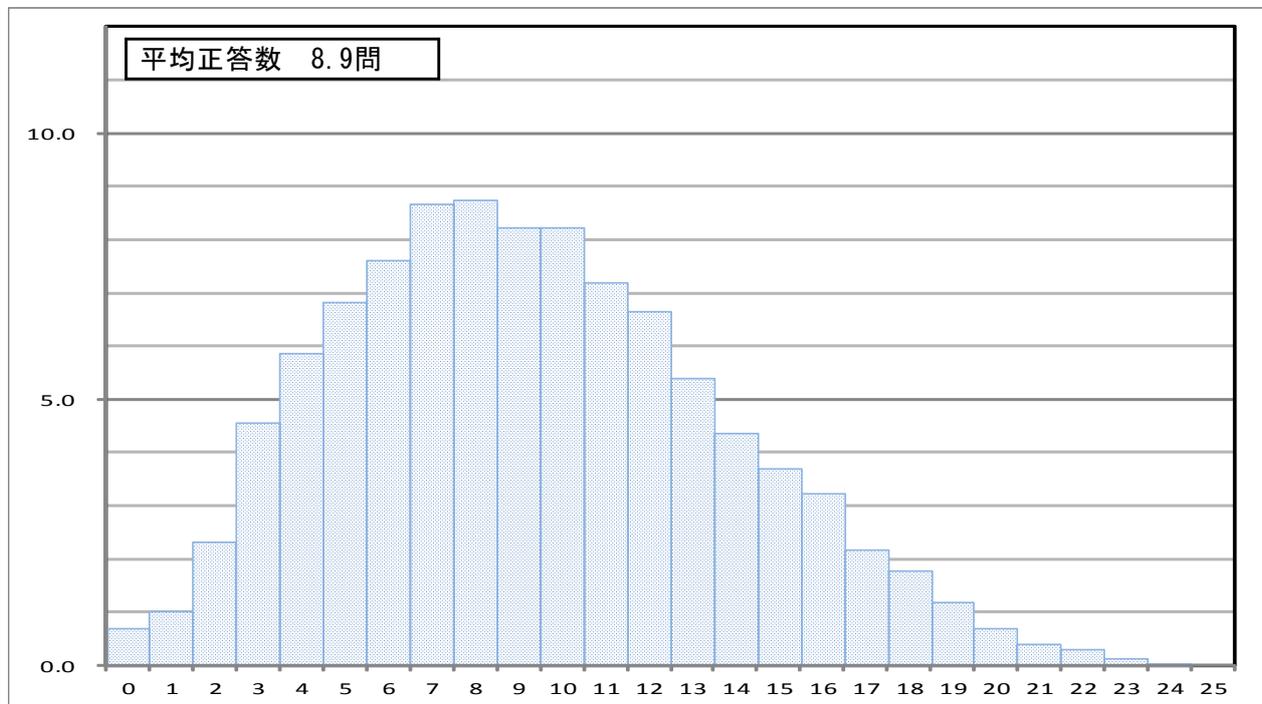
### (3) 社会

#### 【第2学年】

実施生徒数	11,590 人
設問数	25 問
平均正答率	37.6 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	18	37.3
	主として「活用」	7	38.3
学習指導 要領の 領域等	世界の地域構成	2	46.7
	世界各地の人々の生活と環境	3	65.4
	世界の諸地域	5	33.5
	世界のさまざまな地域の調査	0	—
	日本の地域構成	3	32.7
	世界と比べた日本の地域的特色	0	—
	歴史のとらえ方	6	27.6
	古代までの日本	1	10.9
	中世の日本	3	36.7
	近世の日本	2	48.6
評価の 観点	社会的な思考・判断・表現	7	38.3
	資料活用の技能	6	34.6
	社会的事象についての知識・理解	12	38.7
問題形式	選択式	15	40.8
	短答式	4	27.2
	記述式	6	36.5

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

## 【結果から見られる成果と課題】

○ 資料から、世界各地の人々のくらしの様子に関する情報を正しく読み取ることができる。

- ・分布図から、世界の主な宗教の分布を読み取ること (2)(1)69.8%)

○ それぞれの時代における外国との交流に関する知識・理解の定着に改善が見られる。

- ・鎖国下における日本の対外関係 (6)(3)57.6%)

H26 中2 県確認問題「鎖国下における日本の対外関係」34.5%

● 資料から、必要な情報を読み取ることにより課題が見られる。

- ・複数の資料から、日本の畜産業の特徴について読み取ること (5)(2)19.4%)

- ・複数の統計データから、EU加盟国それぞれの特徴について読み取ること

(3)(2)19.8%)

■ 記述式問題に課題が見られる。

- ・承久の乱あるいは刀狩について、その内容と結果について説明すること

(9)(2)10.5%)

■ 完答形式で答える問題に課題が見られる。

- ・アメリカ合衆国の工業の変化を説明する文章に当てはまる語句を答えること

(4)(1)4.2%)

正答率が80%以上であるものや過去の調査等と比較し改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめています。

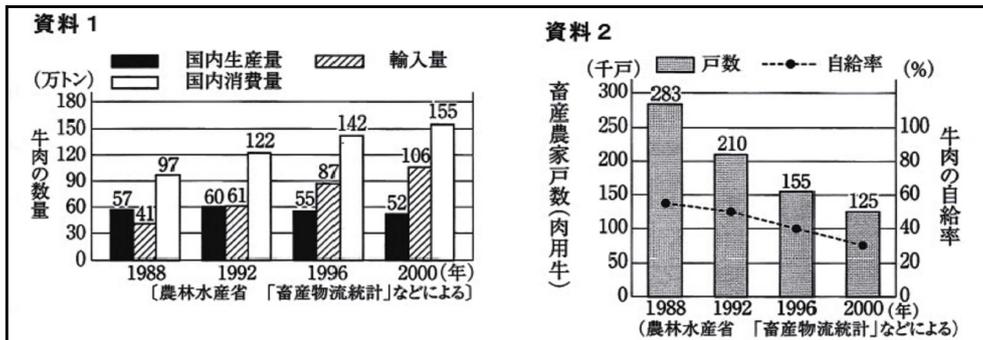
※ ○は成果、●は課題を示している。(■は問題形式による課題)

**社会【中学校2年生】**

- 資料から、必要な情報を読み取ることに課題が見られる。

資料1・2から読み取ることができる内容として、最も適切なものを、次の1～4から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 1988年、1992年、1996年、2000年と、畜産農家戸数（肉用牛）が段々減少するとともに、牛肉の国内生産量も段々減少した。
- 2 1988年に比べて、2000年は、牛肉の国内消費量に占める輸入量の割合が低下したことに伴い、牛肉の自給率が低下した。
- 3 1988年に比べて2000年は、畜産農家戸数（肉用牛）は減少したが、畜産農家一戸あたりの牛肉の生産量は増加した。
- 4 1988年に比べて2000年は、牛肉の輸入量と国内生産量がともに増加し、それによって牛肉の自給率が低下した。



**【正答】 3**

中2：19.4%

- 記述式問題に課題が見られる。

下の〔 〕にあるできごとの中からどちらか一つを選び、A、Bのメモを参考にしながら、できごとが起こった世紀、内容と結果について簡潔に説明しなさい。

〔 承久の乱 刀狩 〕

平治の乱	12世紀
平氏と源氏の勢力争いから起こった戦乱で、その結果、平清盛が武士として初めて政治の実権を握った。	

**【正答例】** <「承久の乱」を選んだ場合>

承久の乱	14世紀
源氏の将軍が絶えたのを知った後鳥羽上皇が、鎌倉幕府を倒そうとしたが敗れ、その結果、幕府の支配が西日本にも及ぶようになった。	

中2：10.5%

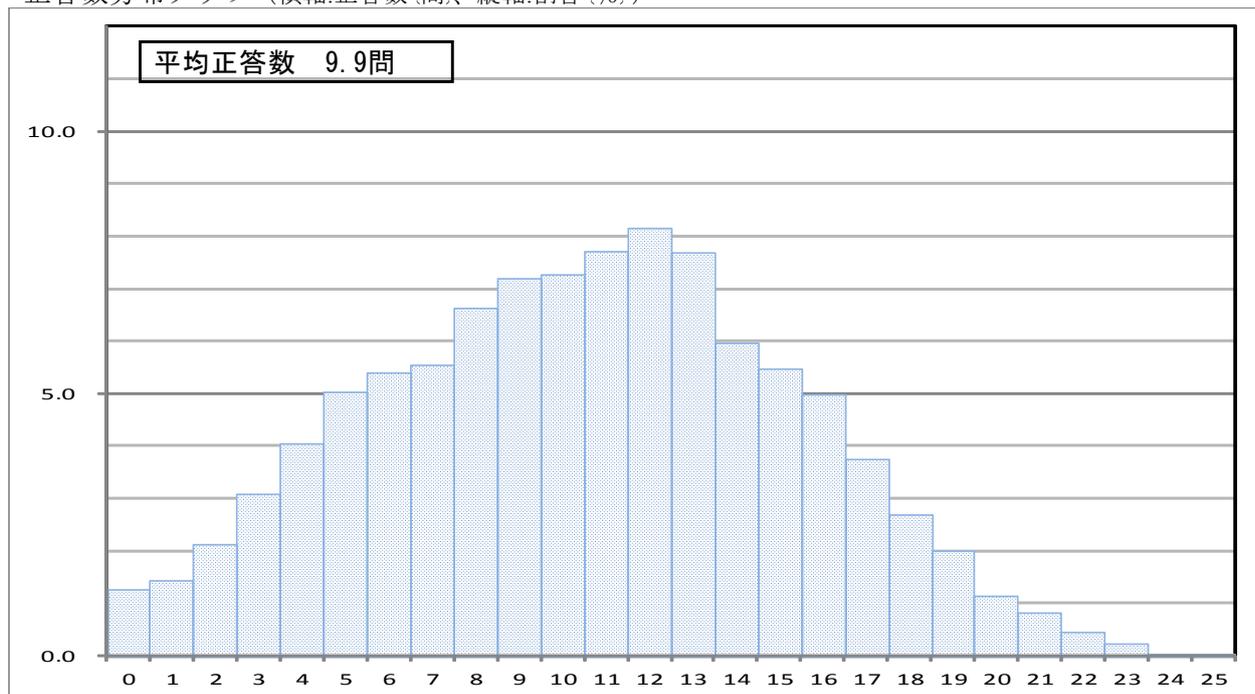
(4) 理科

【第2学年】

実施生徒数	11,562 人
設問数	25 問
平均正答率	42.0 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	19	40.0
	主として「活用」	6	48.4
学習指導 要領の 領域等	エネルギー	6	25.2
	粒子	8	40.5
	生命	6	64.2
	地球	5	37.8
評価の 観点	科学的な思考・表現	10	38.2
	観察・実験の技能	3	38.1
	自然事象についての知識・理解	12	46.3
問題形式	選択式	8	33.0
	短答式	11	45.4
	記述式	6	48.4

正答数分布グラフ (横軸:正答数 [問]、縦軸:割合 [%])



(全ての設問を実施した生徒について算出)

## 【結果から見られる成果と課題】

- 実験結果の分析について成果が見られる。
  - ・蒸散に関する実験結果を分析すること (4) (2) 82.6%)
- 計算を伴う問題に課題が見られる。
  - ・銅と酸素の結合比を用いて、未反応の銅の質量を求めることができる (1) (3) 10.1%)
  - ・蒸散に関する実験結果から、葉の表と裏の蒸散量の比を求めることができる (4) (3) 30.5%)
  - ・重力の大きさの計算 (7) (1) 28.5%)
  - ・圧力の大きさの計算 (7) (2) 14.5%)
  - ・圧力の単位の換算 (7) (3) 6.0%)
  - ・地震発生時刻の計算 (8) (2) 14.4%)
- レンズを通る光を作図して分析することに課題が見られる
  - ・実像と虚像を区別するとともに、像の大きさについて判別できる (6) (2) 29.5%)  
H27 中3全国学力学習状況調査「凸レンズによってできる像を調べる実験の結果を分析して解釈し、規則性を指摘することができる」44.5%
  - ・作図により、焦点を求めることができる (6) (3) 21.4%)
- 実験器具の正しい使用方法に課題が見られる
  - ・ガスバーナーの基本的な使い方について理解している (5) (1) 21.8%)
- 実験結果からわかることを、文章で表現することができる
  - ・有機物と無機物の構成元素の違いについて理解している (5) (2) 31.7%)

正答率が80%以上であるものや過去の調査等と比較し改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、複数学年に傾向が見られるものや特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめています。

※ ○は成果、●は課題を示している。(■は問題形式による課題)

**理科【中学校2年生】**

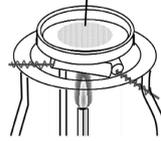
● 計算を伴う問題に課題が見られる。

1 山口さんのクラスでは、銅の質量とその銅に化合する酸素の質量の関係を調べるために次のような実験を行った。図1は実験装置を表している。ステンレス皿は、加熱によって質量が変化しないものとして、下の(1)～(3)に答えなさい。

<実験>

- ① 班ごとに質量を変えて銅の粉末をはかりとる。
- ② 銅の粉末を加熱し、よく冷やしてからステンレス皿をふくめた全体の質量をはかる。
- ③ よくかき混ぜてからもう一度加熱する。
- ④ ②、③の操作を6回繰り返す。

図1 銅の粉末



(3) この実験によって、十分に加熱すると銅と酸素は4:1の質量の割合で化合することがわかった。

銅の質量をもっと増やして実験したいと考えた山口さんは、2.00gの銅の粉末をステンレス皿にのせ、5分間加熱した。加熱前、ステンレス皿をふくめた全体の質量は、22.30gだったが、加熱後の質量は22.61gであった。

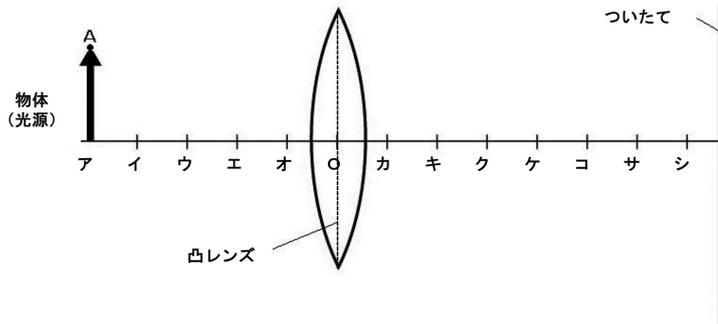
このとき、まだ酸素と化合していない銅の質量を求めなさい。

**【正答】 0.76 g**

中2 : 10. 1%

● レンズを通る光を作図して分析することに課題が見られる。

6 山口さんは、映画館にある映写機がスクリーンに大きな映像を映し出すしくみを確かめるために、持っていた虫めがねの凸レンズを使ってスクリーンに見立てた“ついたて”に像をつくる実験をおこなった。下の図のAの位置に物体(光源)を置いたとき、ついたてにくっきりと像が映った。次の(1)～(3)に答えなさい。



(2) このときに、ついたて上に映った像について、次の文の(①)、(②)に入る言葉を書きなさい。

**【正答】**  
①実像  
②大きい

ついたてに映った像を(①)といい、作図をしてわかることは、この像の大きさは、物体(光源)よりも(②)。

中2 : 29. 5%

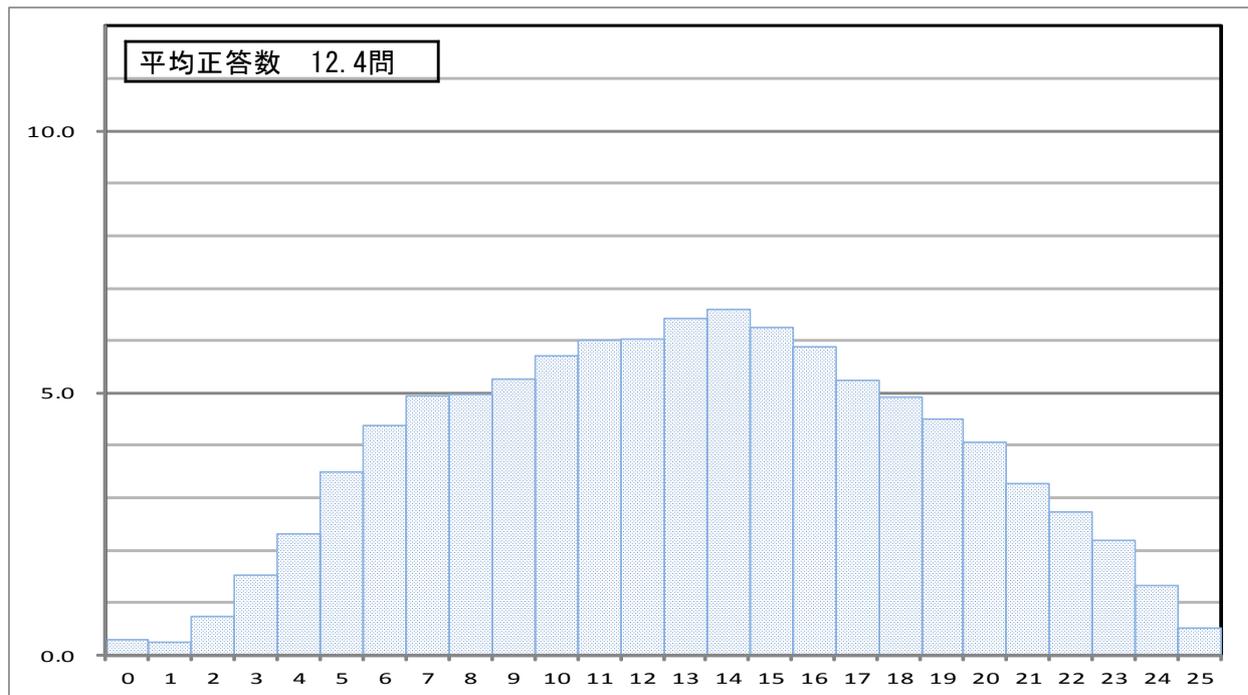
(5) 英語

【第2学年】

実施生徒数	11,601 人
設問数	25 問
平均正答率	52.5 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	19	59.7
	主として「活用」	6	29.2
学習指導 要領の 領域等	聞く	6	80.8
	読む	12	55.2
	書く	7	23.2
評価の 観点	外国語表現の能力	6	24.8
	外国語理解の能力	16	68.3
	言語や文化についての知識・理解	3	22.4
問題形式	選択式	12	72.3
	短答式	7	38.1
	記述式	6	29.3

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

## 【結果から見られる成果と課題】

- 英文を聞き、絵を見て状況を判断する問題については、相当数の生徒ができている。
  - ・ 絵中の人物の動作を正しく表現した英文を聞き取ること (①(1)85.0%、①(2)91.7%、①(3)94.1%)
- 短い対話の内容を読み取る問題については、相当数の生徒ができている。
  - ・ 対話中の登場人物を特定すること (③(1)88.7%)
- 読み取った内容について、他の表現を使って言い換えることに課題が見られる。
  - ・ “She is in London now.” という表現を “She lives in London now.” に言い換えて表すこと (④(2)35.2%)
  - ・ 歓迎カードの内容を説明する英文を完成させること (⑤(1)22.2%、⑤(2)17.9%、⑤(3)6.8%)
- 内容を創造して英文で表現することに課題が見られる。
  - ・ 歓迎カードに書き添えるメッセージを2文で書くこと (⑤(5)22.0%)
  - ・ 物語の終末を考えて英文で書くこと (⑥(5)14.8%)
- まとまった英文の読み取りをもとにして記述することに課題が見られる。
  - ・ 本文の内容に関わる英文を自分で考えて書くこと (④(3)18.2%)
  - ・ 場面状況の理由についての記述を見つけること (⑥(2)58.4%)
  - ・ 起こった出来事を読み取ること (⑥(3)①50.6%)

正答率が80%以上であるものや過去の調査等と比較し改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめています。

※ ○は成果、●は課題を示している。(■は問題形式による課題)

英語【中学校2年生】

**Welcome to Aozora Junior High School**

All about us : 245 students (10 classes) 24 teachers  
 <School Motto 校訓>

Cooperation  
協同

Independence  
自主

Practice  
実践

<Event 行事>  
 Sports Day 運動会      School Festival 文化祭

Today's \*Schedule

10:00~10:45	Play Kendama or Karuta	*Gym
11:00~11:45	Sing Japanese songs	Music Room
12:00~12:45	Lunch	Lunch Room

\*Welcome Message  
 -----  
 -----

- 読み取った内容について、他の表現を使って言い換えることに課題が見られる。

\*Welcome to Aozora Junior High School. I am going to talk about ( ① ) school and today's schedule. Look at your \*card, please.

We ( ② ) 245 students and 24 teachers. Our school motto is : Independence, Cooperation and Practice. We ( ② ) Sports Day in September and School Festival in October.

Today, ③ \_\_\_\_\_

Lunch time starts at 12:00 Please come to the lunch room.

Students and teachers are very ( ④ ). Please ask any questions.

(1) ①に入る単語1語を書きなさい。  
 (2) ②に共通して入る語を書きなさい。  
 ③にスケジュールを紹介する文を書きなさい。

**【正答】**

(1) our  
 (2) have  
 (3) (例) We are going to play kendama or karuta in the Gym.

- 中2 : (1) 22. 2%、(2) 17. 9%、(3) 6. 8%
- 内容を創造して英文で表現することに課題が見られる。

(5) イギリスから来た生徒へのメッセージを英語2文以上で書きなさい。ただし、2つ目の文は1つ目とつながりのある文にすること。また、カード内にすでに書かれている表現をそのまま使わないこと。

**【正答例】** Japan is a very good country. Please tell me about your country.

中2 : (5) 22. 0%